

令和7年度第1回美浜町総合教育会議議事録

日時:令和7年7月29日(火)

午前9時～11時

場所:美浜町役場 正庁

<出席者>

戸嶋町長

加藤教育長、柴田教育長職務代理者、高木教育委員、兵庫教育委員、渡邊教育委員

前田校長(西小)、川畑校長(中央小)、高木教頭(東小)、高木校長(美浜中)

関口教育総務課長、西野こども未来課長、渡辺生涯学習推進課長、本間まちづくり推進課長

<事務局>

総務課 浜野課長、上光参事、中瀬リーダー

1. 開 会

進行:浜野総務課長

2. 町長あいさつ

- ・まちづくりの原点は人づくり。ご尽力いただいている。
- ・人のつながりを大切にしながら思いやりを育む元気フォーラムも8年目を迎える。
- ・放課後教室サンや学び教室kaiも活発になってきている。
- ・情報共有をしながら人づくりを進めていきたい。

3. 説明事項等

(1) 各学校の状況とスクールプランについて **資料1**

<西小学校>

- ・児童総数105名、特支2学級4名、配慮必要な子1名、特別な支援を要する子各学年複数名。
- ・チームで子どもの支援にあたる体制。
- ・教育相談を各学級で定期的に行っている。保護者アンケートで家の様子も聞いている。
- ・不登校の子5年に1名。昨年度から改善傾向にある。
- ・学校教育目標【未来を生きる子の育成 予測困難な時代を生きるための力と心を育てる】
- ・めざす児童の姿【よく学ぶ子 ささえあう子 元気な子】
- ・「対話」に力を入れている。対話により学びを深める。授業外においても対話を心掛けている。

<中央小学校>

- ・児童138名、特支2学級。人懐っこく、明るくのびのび過ごしている。
- ・自主性、主体性、根気強さを伸ばしていくことが課題。朝のあいさつも少し小さい。
- ・学校教育目標 【あかるく かしこく たくましく みんなでつくる楽しい学校】

- ・互いの違いを認め、尊重しあう態度の育成。
- ・学力の向上。子どもたちが自ら課題を見つける。
- ・健全な心身の育成。あいさつ運動や生活調べ週間などを実施。

<東小学校>

- ・児童111名。
- ・6年生、菅浜雁皮の卒業証書作成に向けた活動を行っている。
- ・体育大会の平日開催の検討、アンケート等を進めている。
- ・学校教育目標 【心豊かで たくましい 児童の育成】
- ・学校経営方針 【すべての児童が 輝く学校を目指す】
- ・子どもたちが輝く姿を紹介する取り組みを始めた。（「輝く」を具体化する。）
- ・児童とともに学校づくりを進めていきたい。教職員・児童・家庭にもスクールプランの説明を行い、理解してもらえよう努めている。

<美浜中学校>

- ・生徒169名、教諭16名、特支3年1クラス、1年1クラス。
- ・万博に行かせていただいた。タイトではあったが貴重な経験をさせていただいた。
- ・部活動の地域移行。11月までに申請が必要。
- ・熱中症対策。気象情報に加え、現地でも実測をしている。
- ・学校教育目標 【確かな学力をつける 豊かな心情を育てる 健康な心身を育てる】
- ・家庭学習の取組として、自分で計画を立てて実践する取組を取り入れている。

～教育委員より意見・質疑～

<柴田委員>

- ・昨年度依頼したスクールプランに基づく取組の成果について、教育委員会で共有いただいた。
- ・中学校は昨年度の数値も載せていただいて分かりやすかった。

<高木委員>

- ・東小は昨年度の卒業生、初めて菅浜雁皮を使った卒業証書を受け取った。
- ・非常に良い取り組みなので続けていただきたい。
- ・校長と連携して取組を進めていただきたい。

<高木教頭>

- ・親御さんや区長さんも教え子の方が多いので、地域の協力を得やすい。
- ・地域との関係を大切にしながら子供たちの教育につなげられるよう取り組んでいきたい。

<兵庫委員>

- ・教職員の連携について、管理職視点での方策についてお聞かせいただきたい。
- ・教職員に向けた人権学習をどのようにされているか。

<中学校>

- ・学年の意識が強く、教職員の連携は弱い。毎朝、学年主任を含めたミーティングを実施。
- ・各学年で課題となっていること、困っていること等を共有している。
- ・異なる学年担当の教諭同士ができるだけ関わることができるよう、意図して授業分担を行っている。
- ・意図せず生徒を傷つけてしまったとき、事後指導。

<西小学校>

- ・気掛かりなときは、1対1で話を行うようにしている。管理職が間を取り持つ。
- ・職員室をなんでも言える場に。困り事や悩み事を相談できる雰囲気。その中で人権意識についても共有していければ。

<中央小学校>

- ・終礼や終礼後の時間で、教員同士の意見交換、対話を行えるよう努めている。
- ・ベテラン教員から若手教員に人権も含めた知識を共有している。

<東小学校>

- ・それぞれが日常会話の中で児童の情報共有を行っている。
- ・管理職としてはその雰囲気を維持できるよう配慮している。

<渡邊委員>

- ・不登校の子どもは少ない。不登校ではないが様々な事情を抱えている子どももいる。
- ・そうした子どもにもしっかりと気をかけてほしい。

<教育長>

- ・明るい学校、通いたくなる学校づくりが重要。誰一人取り残さないという気持ちで引き続き取り組んでいただきたい。

<戸嶋町長>

- ・情報共有の場の重要性。対話、感謝の気持ちを伝える言葉の大切さ。
- ・目標と成果の検証を行い、教員同士でもそうした話をできるとよい。
- ・菅浜雁皮での卒業証書作成の取組も、各校に広げられるとよいと感じた。
- ・「エネルギー」というキーワード。各校のスクールプランに見られない。原子力と共生する町として、そうした部分も記載していただけるとありがたい。

(2) 美浜町教育大綱・教育振興基本計画の改定について **資料2**

- ・令和7年度で計画期間満了。今年度、次期計画を策定する。

(3) こどもの遊び場について **資料3**

- ・全天候型の遊び場のニーズを受け、整備を進めている。
- ・来年度整備を終え、令和9年度春のオープンを目指している。

(4) 美浜町こども計画について **資料4**

- ・令和7年度から11年度が計画期間。

- ・計画に基づく主要な事業等の説明。

<戸嶋町長>

- ・アンケート結果に基づく町独自の事業が多くある。
- ・若者世代が子育てしやすい町であることを実感していただける取組を目指している。

<兵庫委員>

- ・人手不足が課題として出てくる懸念。
- ・子どもと祖父母との関係も大切にしてほしい。そうした視点も含めた
- ・様々な企画に参加できない家庭にも目を向けた施策をお願いしたい。

<西野課長>

- ・学習支援員さんのお力を借りれないか教育総務課とも検討中。
- ・親子関係形成支援事業の中で、祖父母との関係構築も支援していきたい。
- ・子サポをコミュニティとして活用いただき、保護者の孤立も支援していきたい。

(5) 感動体験人づくり事業について **資料5**

- ・芸能文化をまちづくりのツールとして活用し、新たな学びの場を創出する。
- ・地域の中高生らがミュージカル公演を行い、感動体験を重ねて主体性や協調性を育む。

(6) みはまシナプスプロジェクトについて **資料6**

- ・みはまの人づくりという観点から「シナプスプロジェクト」について説明。

<高木校長>

- ・サンの活動を日常的な活動に発展できないか。
- ・部活動もやっているし、サンにも参加しているというような層。ミュージカルも同様。
- ・学校の部活動を地域にどのように移行するかではなく、地域で部活動のような受け皿を作り出すという視点で検討いただけるとありがたい。

<町長>

- ・持続的なものとしていくためには、民間の力を活用する必要がある。
- ・出口としてそういった方向性は非常に有効である。

4. 閉 会

<加藤教育長>

- ・人づくり・まちづくりにつながる様々な施策を展開していく。
- ・今年度は教育大綱の見直しのため、複数回本会議を開催させていただく。